

コンセプト

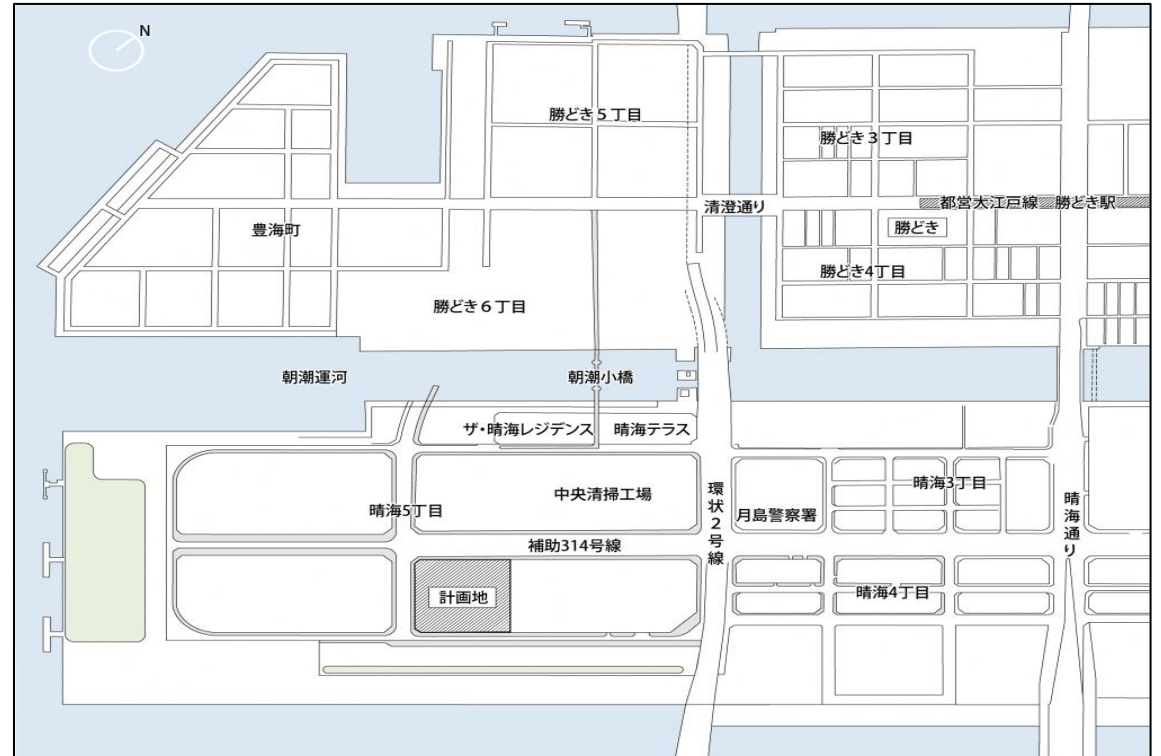
輝く未来を地域と築く、新しいまちの学び舎

サブタイトル

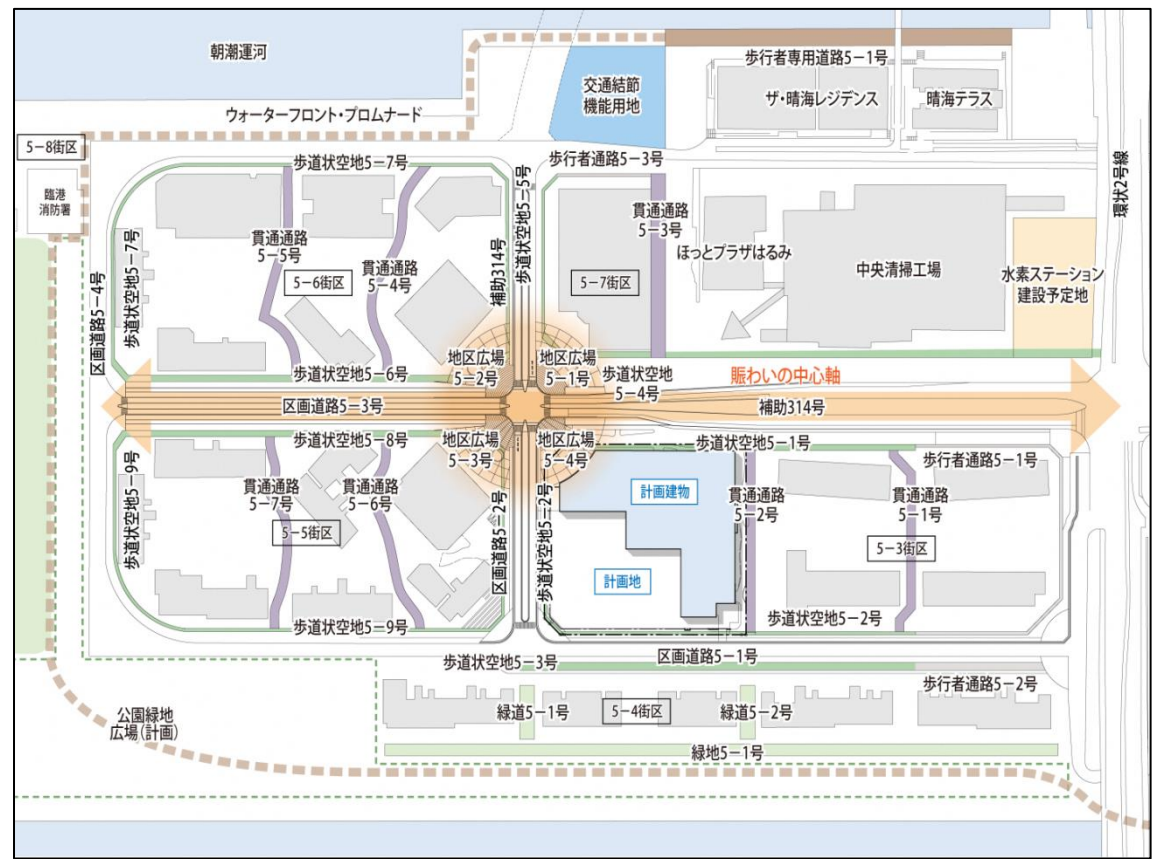
– 子どもたちがのびのびと笑顔で過ごせる、
地域とともに成長する学校 –

- ① 未来に向けて、子どもたちが、「知・徳・体」を兼ね備え、地域を担い世界にはばたく人材を育む場として、小中一体整備の利点を生かし、ゆったりとした空間を確保するとともに、緑豊かな環境を実現します。
- ② 地域活動の拠点となるよう、積極的に体育館やプール等の地域開放を行うとともに、災害時には、防災の拠点としても機能するよう設備の充実を図ります。
- ③ 東京2020大会の選手村レガシーを活用しつつ、将来にわたってこの地域の拠点であり続けるよう、まちの成長や社会の変化に対応する可変性を持たせ、地域とともに成長していける施設づくりを心がけます。

①「学びの場としての学校」、②「まちの拠点としての学校」、③「地域とともに成長する学校」という三つの視点から新しいまちの象徴となる学校づくりを推進します。



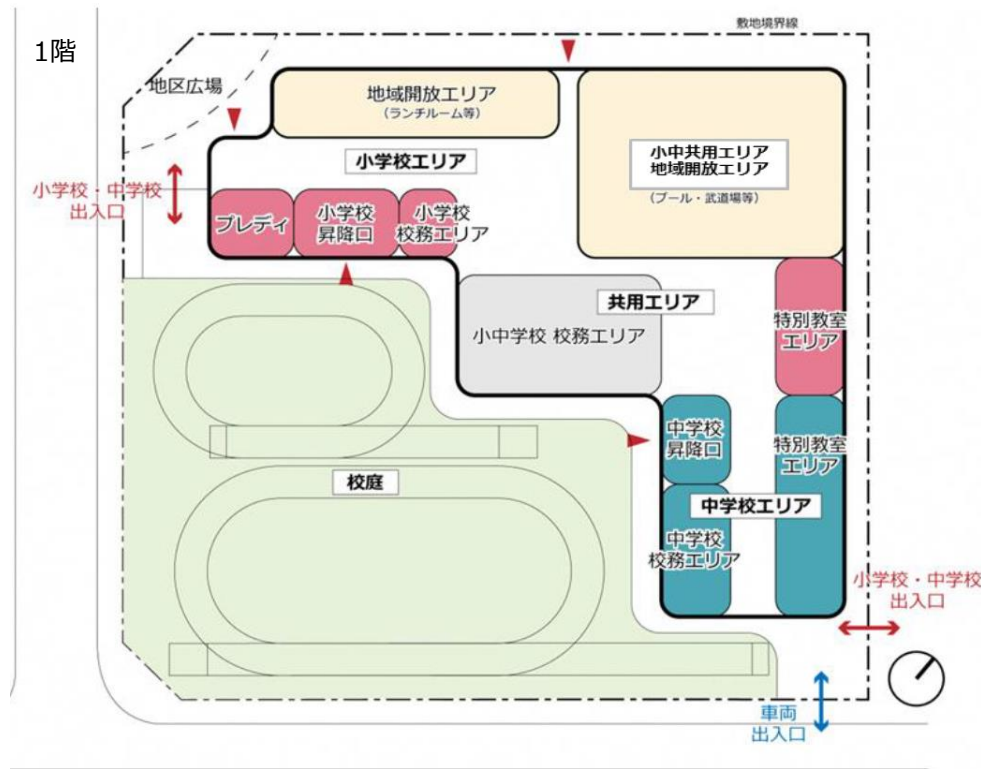
案内図



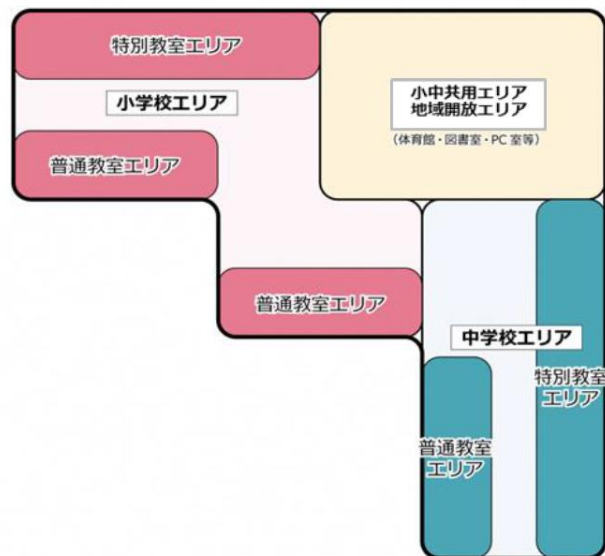
配置図

1 ゾーニングについて

南面採光で近隣日影の影響が少ない北側L字型に校舎を配置し、小学校と中学校はエリアを分け、各学校は学年単位でさらにエリアを分けることによりそれぞれが授業に集中しやすい空間を確保し、体育館やプール等の小学校と中学校で共用可能な設備は共用を図るようにします。又、地域開放の利用者と生徒・児童が交差しないよう動線にも配慮した諸室配置とします。



2～4階



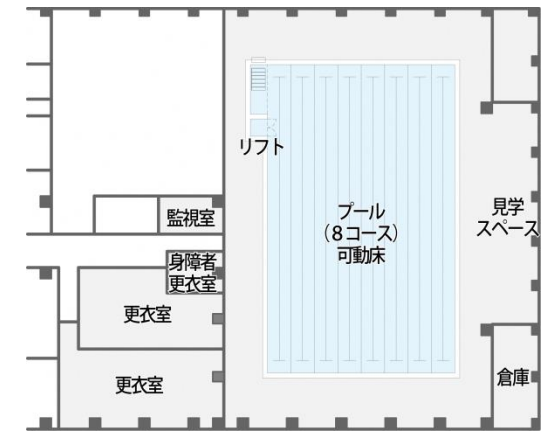
2 地域開放エリアについて

地域開放エリアとしては下記を想定します。

- ・プール（更衣室・シャワー室等も含む）
- ・武道場
- ・ランチルーム
- ・体育館
- ・校庭
- ・屋上運動場

3 プールについて（1階）

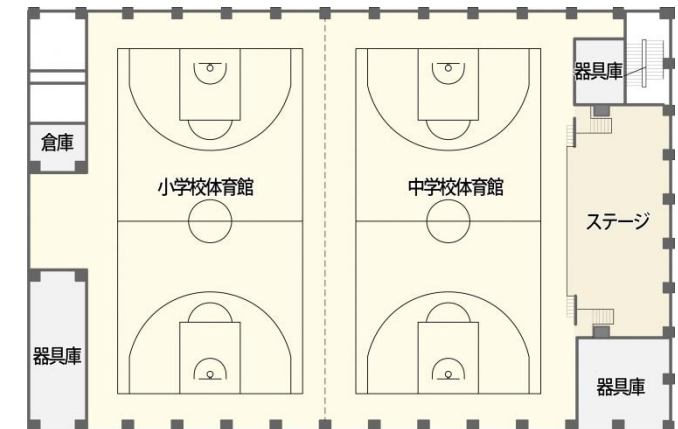
プールは小中共用の屋内プール（8コース）を1ヶ所設置します。（可動床あり）小中共用で1ヶ所とすることでプールと設備スペースの縮小が可能です。天候に左右されないため通年で地域開放が可能です。



屋内プール平面イメージ

4 体育館について（2階）

2階に小中それぞれの体育館を並列に配置することで、一体利用可能な計画とします。バスケットの公式サイズのコート2面設置可能な規模です。中央部には小中同時利用時の安全性を考慮してネットを設置します。



体育館平面イメージ

5 校庭の仕様について

校庭の大きさは約6,000㎡を確保し、小中のエリアを緩やかに分節しながらも一体利用が可能な計画とします。

- 小学校：100mトラック（6コース）
50m直線（6コース）
- 中学校：150mトラック（6コース）
100m直線（4コース）

校庭の舗装材については、体育の授業やサッカー等の競技対応性及び防塵性に優れた「人工芝」を採用します。



人工芝イメージ①

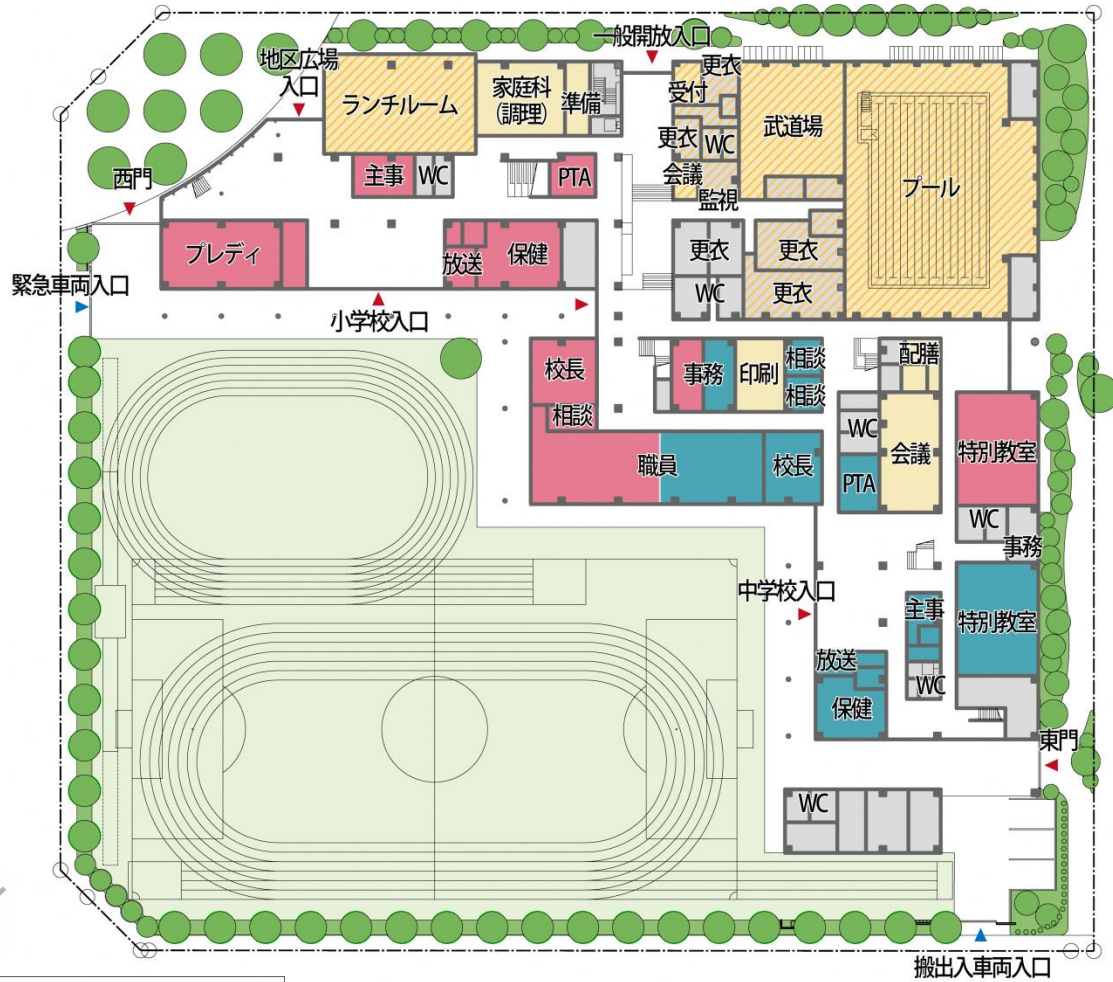


人工芝イメージ②

地下1階



1階



2階



3階





校庭側外観イメージ



地区広場側外観イメージ



賑わい軸の中心側外観イメージ



貫通通路側外観イメージ

イメージは、今後の設計で変更となる場合がございます。外観の仕上材、色等は現時点では決まっておりません。